

県政ネットワーク

県政ネットワーク 発行者発行人 田中ただみつ
所在地 〒633-2166 宇陀市大宇陀迫間51-3
電話 0745-83-1188 F A X 0745-83-3272

代表質問・田中ただみつ議員

12月5日再開された議会で、トップバッターとして、自由民主党会派の代表質問をさせていただきました。代表質問は、各会派を代表して行われる。会派は、3人以上の議員構成で認められ、毎議会の代表質問は各1名行う。自由民主党会派は12人の中で貴重な機会をもらった。今回、下記の6項目を質問した。

1、平成26年度の財政運営について、
県政の諸課題へ積極果敢に取り組んでいくためには、持続可能な財政運営が求められているところであるが、必要な施策の展開と持続可能な財政運営について、



どのようなバランスを図っていこうと考えているのか、来年度の予算編成の基本的な方針と併せて、知事の所見を聞きたい。

2、猿沢荘の外国人観光客のための施設としての活用について

本年8月に施設廃止となった猿沢荘を、外国人観光客のための施設として、今後どのように活用しようとしているのか伺いたい。

3、精神障害者に対する福祉医療制度の適用について

奈良県の精神障害者に重い負担となっている医療費に対して、身体障害者や知的障害者と同様に福祉医療制度を適用し助成すべきと考えるが、どのように考えているのか、所見を伺いたい。



4、県産材の販路拡大について

先般、東京において県産材をPRする「奈良の木フェア」を開催されたが、どのような成果を期待しているのか。また、今後の県産材の販路拡大について、どのように考えているのか。

この質問は、手間暇かけて育てられた奈良県の木は、



「年輪が細い」「色つやがよい」などの特徴があり、全国的にも良質材の産地として有名ですが、活用できておりません。

このような中、荒井知事は林業・木材産業の振興を県政の重点課題とされ、「奈良県森林づくり並びに林業及び木材産業振興条例」を策定されたのをはじめ、木材利用施策を強化するために昨年奈良の木ブランド課を設置され、公共建築物等への県産材の利用の拡大や間伐材を活用した木質バイオマスの実証実験に着手されるなど、新たな取り組みを進めておられます。

衰退が続いている林業・木材産業の現状を踏まえ、一気に好転するのは難しいと思いますが、県内の関係事業者と協力しながら、知恵を出し、新たな起爆剤になるような取り組みや地道で継続的な取り組みを進めることが必要であるとの思いからでした。



5、移動ニーズに応じた交通サービス提供体制の構築について

10月末に奈良県地域交通改善協議会において、路線バスとして運行することの必要性や効率性の判断基準となる客観的な指標に基づく補助や路線の廃止に係る数値基準が示されたが、今後、これらの指標を活用して、移動ニーズに応じた交通サービスの提供体制の構築に向けどのように検討を進めていくのか。

6、JR西日本との包括的連携協定について

鉄道会社と自治体の新しい関係が望まれる中、10月に県とJR西日本との間にれたが、その目的やねらいは何か、また今後、この協定をどのように活かしていくのか。

奈良県内におけるJRの鉄道の役割が、表面的には天王寺への大和路線、関西本線、桜井線、和歌山線を思い起こすところです。

しかし表見的なものだけでなく、奈良県の観光政策を成功させるためには、JRの果たす役割は大きなものがある。また、今後、リニア新幹線を迎えるためには、友好体制を築くための有効な手法であるとの思いで、質問を試みた。

県議会報告

となった。そのため、資機材の搬入をモジュール工に変更したこと

十二月議会

本会議

定例十二月議会は、十二月三日に召集されました。県議会の招集は、通常、奈良県知事によつて行われます。今回も、補正予算が組まれ、当初に上程された議案は、一般会計補正予算が一件、条例が七件、契約等が七件、取り立て不能による権利放棄一件、他五件が当初の議案でした。会期中人事案件が二件提出されました。補正予算に関して宇陀にかかわる予算として、

宇陀署関係

宇陀署が、桜井署と統合され、来年度から桜井警察署宇陀分庁舎となる。再編後の庁舎利用について、その一部分を警察本部の、「警察音楽隊」の活動拠点として利用することになった。音楽隊が練習する上で、騒音問題を発生させないように、建物内の遮音、吸音等の室内改造を行うことになった。債務負担行為として、四二七五万八千円を計上した。警察音楽隊のメンバーは、専属楽団員として採用されているわけではなく、日常は、県内各地域に分散されており通常勤務、練習の時だけ、宇陀署に集まってくることになる。

県土マネジメント部関係

災害復旧工事が県内東部・南部各地域で行われているが、その工事箇所内で、再び土砂の崩落等災害が発生した。東部地域では、宇陀市内牧の国道沿いにおいて、今年八月末の秋雨前線降雨により資機材の搬入路及びその周辺に亀裂など変状が発生し利用が不可能

による、変更理由によつて、請負工事費が、七百二十五万九千円から一六二七万一千円とした。

建設委員会

十二月十二日、新たな災害や、被災現場が被害にあり、再度予算をつけなければならぬ、又、工法の変更を余儀なくされる等、補正予算をつけ災害復旧に対応しました。県営住宅について、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の改正を踏まえ県営住宅の入居資格を拡大することとした。大洲池公園体育館や部分的な県施設の利用料金を改定する条例を審議した。

都道府県議員

研究交流大会

十一月十二日 東京・都市センターホテルにおいて、第十三回都道府県議員研究交流大会が開催された。



共通する政策課題等について情報、意見の交換や連携を深めることによつて、議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資する目的で開催されている。この会で増田寛也氏の講演を聞き、十二月議会における代表質問の中で、引用させていただいた。分科会は、「政策立案の強化に向けた改革」を選択した。

近畿六府県議員交流フォーラム



十一月十四日和歌山県議会において、近畿六府県議員交流フォーラムが開催され、共通課題の意見交換が行われた。田中議員は、第二分科会の地域振興分科会に参加した。

県議会基本条例

前号までに、具体的な県議会基本条例の前文から始まり条例を掲載させていただきました。今回は、第二十二条から最後の附則まで掲載します。

(議会図書室)

第二十二条 議会は、議員の調査研究に資するため、議会図書室を適正に運営し、及び管理するとともに、その機能の強化に努めるものとする。

第九章補則

(他の条例との関係)

第二十三条 この条例は、議会に関する基本的事項を定める条例であり、議会に関する他の条例等を制定し、又は改廃する場合においては、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合を図るものとする。

(検討)

第二十四条 議会は、この条例の施行後、県民の意見、社会情勢の変化等を勘案し、必要があると認めるときは、この条例の規定について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

附則

この条例は、公布の日から施行する。制定された条例は、以上です。(連載終了)



11月5日南部振興議員連盟が開催された。県議員のほか関係市町村長や議会、関係団体の代表者が集まり、知事をはじめ県理事者に、地域の要望を行った。

予算獲得運動

来年度予算に関して、知事の要請を受け国会議員への説明、協力要請活動とそのあと関係省への予算について要望活動を行った。朝八時より県出身の国会議員に集合いただき、奈良県の来年度の主な取り組みと、伴う予算について説明し、取り組みへの協力方をお願いした。



国土交通省、総務省、財務省へ行き、それぞれ関係のある項目について、事情の説明や事業推進に協力をお願いした。国土交通省では太田大臣が執務室に招かれ、奈良県の事情に

ついでに認識の深さを披露された。また、参加していた県議会議員の岡史朗(檀原選出)議員からは、一度奈良県へお越し願いたいとの申し入れをしたところ、是非行きたいとの強い希望を述べていただいた。

リニア新幹線についても、大臣をはじめ担当局長に至るまで、早期に奈良に駅設置を要請した。県の熱意は伝わった。

関係者の方々は、口をそろえて「すでに国の方針として『奈良』と決定した。しかし、京都が動いている。」との話がありました。

今後も積極的な誘致活動を推進する必要性があると感じた。

そして、奈良県内での駅誘致の運動があちこちで行われていますが、県内での意見をできるだけ早めに、取りまとめることが大切のように思えた。

県立大宇陀高等学校

創立九十周年

記念式典参加

県立大宇陀高等学校の九十周年記念式典が開催されました。十一月二日。会場は、大宇陀文化会館。田中ただみつ議員は、現在、県立大宇陀高等学校同窓会副会長をさせていただいて



富岡将人県教育長と田中ただみつ県議

たいてい、ものがあり、感慨深いものがありました。当日は、地元出身議員としてお招きを受け、光栄でした。

また以前、学校が制服を探している事を掲載しましたが、読者からの協力のおかげで、会場内に展示されていました。感謝。

編集後記 今号は昨年の暮れに発行予定でしたが、年を越してしまいました。毎日、バタバタ元気に動くことがうれし！今年もよろしくお申し込み申し上げます。